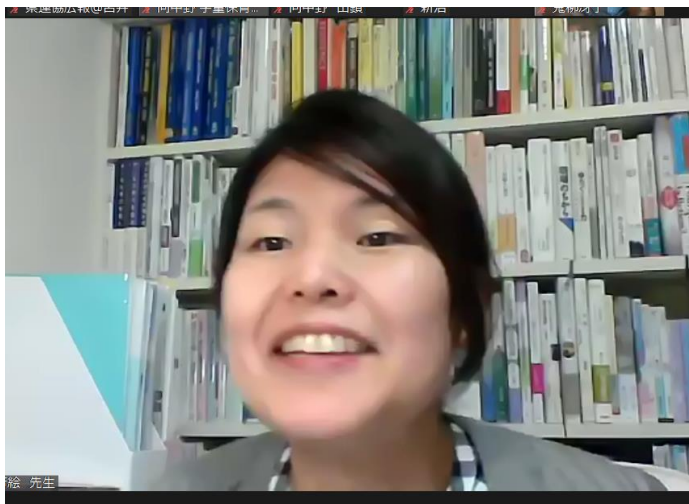


第49回指導員学校・第1回保護者会研修会

学童保育 大人も育つ場所



岩手県学童保育連絡協議会
〒020-0122
盛岡市みかひけ3-38-20
岩手県青少年会館内
Tel・Fax 019-681-0651



ZOOM を使って講演する安部芳絵工学院大学准教授

県学童保育連絡協議会主催の第49回指導員学校と第1回保護者会研修会は8月29日にオンラインで開催されました。例年8月下旬に指導員学校・合宿研修会を一泊2日で開催していましたが、コロナウイルス感染防止のため、合宿研修会を保護者研修会に代えて行われました。

指導員学校

午前の指導員学校には162人が参加。石川県津幡町の重木奈穂美指導員が「実践の中で確かめてきた学童保育指導員の仕事」と題して講演しました。

重木指導員の勤務するクラブでは二十数人もの児童が退所した時期があったといい、「当時は子ども同士の関係がつかれない、保護者も合理的に考えがち、指導員もグチが多くなり希望のない中で保育をしていた」と振り返りました。悩みなから参加した全国研での熱意あふれる先輩指導員と出合いが「指導員の仕事とは何かを改めて考え、勉強し始めるきっかけになった」と話しました。

重木指導員は指導員の仕事の中心は運営指針にあると話しました。

保護者研修会

午後の保護者研修会には、保護者や指導員120人が参加。工学院大学の安部芳絵准教授が「子どもの想い・保護者の願いがまつた学童保育―子どもの権利条約をヒントに―」と題して、講演しました。

安部准教授は「子どもの権利条約は子どもに関するものさし。子どもの最善の

全国研 多数参加を

第56回全国学童保育研究集会は10月23、24の両日、オンラインで開催されます。静岡大学の石原剛志

登録し、入金を完了してください。オンライン開催は地元にながら全国研に参加するチャンスです。指導員、保護者の皆さんの多数の参加を期待します。

心して働くためには、「わが子がクラブで大切にされているという実感が大切」と述べ、「指導員が託されているものは『うちの子をお願います』という保護者の切実な思い。つまりいたり、しんどくなった時はここに立ち返る。指導員の仕事の本当の意味がここにある」と締めくくりました。

参加者は画面越しにうなずきながら熱心に耳を傾けていました。

で行事をする際は「第2条差別の禁止」、「第3条子ども最善の利益」、「第6条生命への権利、生存・発達の確保」、「第12条 子どもの意見表明権」の4つが成立しているか、考えてほしい」とアドバイスしました。

近年、子どもの余暇や遊びが失われている現状に触れ、「学童保育の特徴は遊び。遊びは子どもが管理されず自分の考えで行動できる場」と述べました。また、指導員について、「親が気づかない子どもの想いを気づかせてくれる。時に子どもの想いや、親の願いを通訳してくれる。親や学校の先生とは違うナナメの関係にいる大人」と指摘しました。